

科学技術関係人材専門調査会の今後の審議の進め方について

1 経緯

昨年12月開催の総合科学技術会議本会議において、井村会長名で「科学技術関係人材専門調査会の審議における主な論点について」が報告された。同文書では、「今後の検討課題（例）」として、次の7点が例示されている。

- 若手研究者の自立性の向上のための支援の在り方
- ポストドクトラル・フェロー制度の今後の在り方
- 日本版のテニュア制度の確立に向けた方策
- 多様性の向上を実現する方策（任期制や他分野からの人材の登用とその問題点）
- 産業界の積極的協力と参画を確保する方策
- 科学技術関係人材の裾野の拡大と理解増進施策との整合的な推進
- 博士課程に優秀な人材が進むことを可能とする支援策

2 重点的審議事項について

上記1及び当専門調査会の第5回（平成16年1月29日）の審議を踏まえ、今後の重点的審議事項について、次ページのように整理してはどうか。

【前提】

7月を目処に、総合科学技術会議（本会議）において決定・意見具申がなされることを念頭に置いて審議を行う。

このため、概ね月1回のペースで当専門調査会の審議を行う。

ただし、当専門調査会の取り纏め以前においても、早急に取り組むことが必要と認められる事項については、昨年来の審議を踏まえ、関係する専門調査会等の審議に活かされるように努める。

必要に応じ、7月以降も科学技術関係人材に関する審議を行うことがあり得る。

【重点的審議事項 1】 初等中等教育及び高等教育における科学技術関係人材の育成の充実について

初等中等教育における理科教育等について
大学・大学院における人材育成に関する産業界との連携
博士課程学生への経済的支援

【重点的審議事項 2】 科学者・技術者のキャリア・パスについて

ポストドクターの位置付けと支援の方策
若手科学者・技術者の能力発揮と「テニュア制」
産業界におけるキャリア・パスについて

3 審議スケジュールについて

上記 2 に基づけば、今後の審議は、次のようなスケジュールで進めることが考えられる。

第5回 1月29日(木) 13:30~15:30

[開催済み] (1) 今後の審議の進め方について

(2) 初等中等教育における理科教育等について
・教員免許制度について

第6回 2月25日(水) 10:00~12:00

(1) 初等中等教育における理科教育等について
・高等学校教育課程実施状況について

(2) 大学・大学院における人材育成の充実について
・博士課程学生への経済的支援について

(3) 今後の審議の進め方について

第7回 3月24日(水) 10:00~12:00

(1) 大学・大学院における教育について

・人材育成に関する産業界との連携について
・ファカルティ・ディベロップメントについて

第8回 4月14日(水) 10:00~12:00

(1) 科学者・技術者のキャリア・パスについて

・ポストドクター及び若手科学者・技術者について

(2) 今後の重要施策について

第9回 5月19日(水) 10:00~12:00
(1) 科学者・技術者のキャリア・パスについて
・産業界におけるキャリア・パスについて
(2) 当専門調査会の「取り纏め(骨子)」について

第10回 6月 日 日時未定
(1) 当専門調査会の「取り纏め(案)」について

第11回 7月 日 開催未定【予備】

7月以降の直近の総合科学技術会議(本会議)において審議
[決定・意見具申]